



にじ
横山和雄 議員
が問う！

農作物を
有害鳥獣から守ろう!!

有害鳥獣対策について

農作物は収穫まで多くの日数、年数を要するものもあり、農家の方が日々、栄養、病害虫、用水管理をしながら栽培してできる農作物が有害鳥獣の手によって収穫を踏みにじられることはあってはならない。市としての現在の対策、また、ワイヤーメッシュに対する補助について、市の考えを伺う。

Q. 農作物等への被害対策について問う。

A. 農作物等の被害対策として、電気柵の設置に対する補助を平成21年度から実施しており、直近3ヶ年平均の補助件数21件、補助金額174万6、

000円を農家の方々に支援している。

また、有害鳥獣を駆除する組織である市鳥獣被害対策実施隊に対し、猟銃等取得に対する補助を平成29年度から実施しているほか、有害鳥獣駆除活動費や射撃技術向上研修費などを助成し、駆除活動を強化している。

市としては、今後も、電気柵の設置に対する農家の方々への支援をはじめ、新たな若手実施隊員確保のための勉強会開催、さらに、実施隊員の捕獲技術や射撃技術向上のための研修支援を実施し、農作物及びインフラへの被害対策に努めていきたいと考えている。

また、ワイヤーメッシュについては、電気柵の単価よりもはるかに高額で、市単費での補助については、財源確保が困難であること、また、少ない予算で補助をしても設置延長が確保できないなど、有効な支援に結びつかない等から、個人の設置に対するワイヤーメッシュの補助制度は難しいと考えている。

なお、国内におけるワイヤーメッシュの有害鳥獣対策で成功している事例では、集落や地域単位で取り組むことが効果を発揮する上で大事であるという結果が出ている。

地域で取り組むことで被害防止にかかる個人の負担が減少するなど利点が多いこと、地域で取り組む場合に活用できる補助制度もあることから、個人へのワイヤーメッシュの助成制度の創設よりも地域で被害防止に取り組むように啓発をしていきたいと考えている。

その他の質問

○浜の駅松川浦の運営状況に

ついて



↑こちらから↑



にじ
門馬優子 議員
が問う！

魅力あふれる相馬市づくりのために、今、何をすべきか!!

SDGs事業取り組みへの推進について

現在、全世界で持続可能な社会の実現を目指し、「SDGs」という共通の目標を掲げ、取り組んでいる。国内においても政府を中心に行政、民間、国民等の活動が活発化している中、相馬市においても最大の課題である持続可能なまちづくりに向けて、今すぐ取組を推進していくべきではないかと考え、質問する。

Q. 現在の取り組み状況について問う。

A. 令和2年5月に策定した第2期相馬市地方創生総合戦略の施策の方向性の中に、「SDGsの理念に沿った持続可能なまちづくりを意識し、取組

を進めていくこと」を明記している。

現在、まちづくりの総合的な指針となる相馬市マスタープラン2017や相馬市地方創生総合戦略など、各計画においてSDGsとの明確な関連付けは行っていないが、それぞれの計画に掲げる事業を着実に実行していくことが、相馬市が相馬市でありつづけるためのまちづくり、ひいては、SDGsとして掲げている持続可能な開発目標に繋がっていくものと考えている。

Q. 今後の方向性について問う。

A. 国は、SDGsの取組を一層進めるために、優れた計画を提案した自治体を「SDGs未来都市」として選定し、その中から「自治体SDGsモデル事業」として毎年10事業を選定しており、そこに提案するためには、経済・社会・環境面での統合的な取組などを示す必要がある、選定後は、定期的な進捗管理とその達成度の明確化が求められている。

市としては、SDGsの理念を理解し共鳴する形で、市の策定する計画に掲げる事業を着実に実行していきたいと考えており、社会経済情勢の変化を的確に捉え、相馬市行政経営システムのPDCAサイクルに基づいて、課題を一つ一つ解決し、SDGsの理念を尊重しながら行政経営を進めていきたいと考えている。

その他の質問

○新型コロナウイルス予防接種

への対応について

○学校施設の安心安全対策につ

いて



↑こちらから↑

あの質問のその後

過去の一般質問の中で取り上げられた内容について、その後の進捗等を掲載します。

今回は令和2年6月定例会において質問のあった「**宿泊者レンタサイクル**」について、お知らせします。

質問

コロナ禍での新しい生活様式に沿った観光として、相馬の旅館に無料で使える自転車を配置してはどうか。

答弁

コロナからの復興の一つの手段として、観光振興のために自転車を整備することはいいことだと考えるが、ただ配置するだけでは予算の無駄遣いとなってしまう可能性もある。旅館等から、要請と併せて保管方法

や運用方法について責任をもって提案をいただくことで、相馬市の復興の大きな力になってくるのではないかと考えている。今後、要請があれば対応していきたい。

その後

令和3年4月1日より、市内の宿泊施設等32施設に、電動アシスト付き自転車等127台を配置し、運用を開始しました。
旅館やホテルだけでなく千客万来館にも配置してありますので、ぜひご活用ください。



千客万来館に配置された
レンタサイクル（4台）